



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市会議員

発行：日本共産党高槻市会議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.153 2025年11月

市街地整備促進特別委員会

富田地区のまちづくりについて

昨年度、複合施設の在り方や富田の公共施設の在り方などの議論がされ、市長の「もう一度改めて富田地区全ての公共施設を俯瞰して考えていきたい」との意見が示され、今回あらたな方向性が提案されました。

中長期的に取り組む鉄道高架化事業と周辺道路の整備に合わせて関係機関と連携したまちづくりに取り組むものとする。



◀駅前・駅間

周辺ゾーン

JRと阪急の駅が近接し利便性が高く、特に朝夕の時間帯は歩行者と車両が混在するなど、安全・安心な移動・滞在に大きな課題がある。

◀小寺池図書館

周辺ゾーン

落ち着いた雰囲気で行うことができる図書館を中心に、隣接する浸水池や散策路等まちなかの貴重な緑の空間として地域住民に親しまれている。

◀新公共施設

周辺ゾーン

富田ふれあい文化センター、富田青少年交流センター、富田老人福祉センターなど多様な交流の場や地域住民の生活を支える施設が集積している地区である。

一方で、これらの公共施設は築年数が経過し、老朽化が顕著で施設の更新が必要。今回、改めて公共施設の再構築の検討を行った結果、富田公民館で行われている社会教育事業や貸室機能も含めて集約化、多機能化を図

る。

新公共施設は、当該施設がある原位置に建て替えとする。公園や市営住宅跡地などは広場空間とする。

◀寺内町・歴史

文化ゾーン

三輪神社や教行寺、普門寺、本照寺などの神社仏閣が残っている。富田支所については老朽化もあり、建て替え移転を検討する。移転場所としては筒井池公園の中を検討している。

支所跡地については、富田地区にはない公共施設として、伝統芸能にも親しめる文化ホールや富田の歴史資料館など、新たな歴史文化も拠点となる施設整備の検討をする。などが提案されまし

た。

複合施設の建設場所については前回の場所を撤回し、今あるところに建設をするということ。筒井池公園のトイレも、支所移転と同時に改修される予定です。

この計画は昨年、一度見直すことが提案され、今回再提案されました。

わたしは、「この提案は2回目となる。関係団体や自治会、市民に対して十分な説明をし、理解されるように取り組むこと。またこれしかないというのではなく、細かいところでは柔軟な対応をしてほしい」と要望しました。



外国人への差別や分断ではなく、 多文化共生でこそ 民主主義は発展します

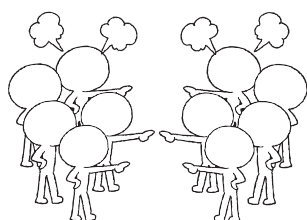


7月に行われた参議院選挙では、外国人差別・排外主義的な発言があり、「外国人が入ってくるから、大きな犯罪が生まれている」「日本の治安が悪くなっている」などとあり、さらには外国人への特権優遇があるかのような発言もありました。社会の不安の原因を

外国人への差別の背景

不安定な働き方を強いられ、物価高で生活が苦しく、社会保障を含めた将来に強い不安と、焦りを抱いています。若年層であるほど、この国が持続可能なのかという深刻な不安、不満があり、それと真摯に向き合っているようには見えない、政治への怒りがあるからではないでしょうか。

外国人という乱暴なくくりで転嫁する。誰かを下にみたり、属性を理由に攻撃することが行われました。その結果、ネットでは日本人が納めた税金で外国人が生活保護を受けている。また、日本の医療を受けているということまで言う人がいます。



非正規労働者は4割まで広がり、「自己責任」論を持ち込み、個人の責任と若者を追い込みました。しかし、不満や不安の矛先を外国人に向けても解決はしません。

外国人市民と共に

高槻市では2015年に「高槻市人権施策推進計画」を策定しました。2019年3月末で3402人の外国人が暮らしていましたが、2025年8月末時点では75か国、5129人に増えています。

計画では「外国人市民の人権に関しては、特定の民族を名指しして誹謗中傷するヘイトスピーチや住まいの確保・日常生活のサービス利用の拒否など、様々な場面で課題がある」とし、「ともに地域で生活し、働く仲間として外国人市民が、それぞれ持つ文化や生活が尊重され、差別や偏見をなくしていくために、相互理解を深め、多文化共生の地域づく

りを進めていくことが求められる」としています。

外国人優遇はありません

今の日本ではあらゆる産業で、人材不足があります。高槻市で働いている外国人の方に対しても、生活保護は、在留カードか、特別永住者証明書が必要で、生活保護受給の条件を満たした場合に受給することができ、日本人との条件に違いはありません。医療保険は在留資格が3か月を超えた場合などの加入することができ、外国人優遇はありません。

青森市で今年7月に行われた、全国知事会議で47人の知事が、排外主義の否定と多文化共生社会を目指すこ



とを盛り込んだ「青森宣言」を採択しました。「争いよりも対話、異なる意見を尊重し、困難な時こそ温かい心で誰一人として置き去りにしない」としています。高槻市でも外国人差別、排除に反対し、より強いメッセージを発信することが大切です。

